

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		施設管理事業（交通安全施設）						予算事業名		施設管理経費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分						
				02	07	02	0501	経常経費	根拠法令					
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり（都市・環境）						事業の区分		主要事業				
		2-4安全に暮らせる安心なまちづくり（防災・防犯・安全）												
		③交通安全対策の推進						事業の区分		防災安全課				
		1安全に利用できる道路管理						担当課係等		交通防犯係				
事業期間		継続（年度～平成33年度）												
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
民家や照明等のない暗い通学路に対し、街路灯を設置することで、児童生徒の通学時の交通安全，防犯対策を図る。 結城市管理の街路灯すべてをLEDタイプにすることで，経費削減を図る。							通学路の安全確保のため，街路灯設置の要望により実施。 PCB使用器具については，平成34年3月31日までに処分しなければいけない。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
通学路の安全確保の一環として，街路灯の維持管理を行う。 結城市内（結城市管理）の街路灯をLEDタイプに交換する。							児童・生徒 市全体（結城市管理）							
							【事業をとりまく環境の変化】 児童・生徒に対する不審者情報等が増えてきている。また，通学時の安全確保のために街路灯設置の要望が増えているが，予算的な問題もあり予算の拡充が必要である。 PCB使用器具については，平成34年3月31日までに処分しなければいけないため，財政状況を考慮しながら予算措置をし，年次計画に基づき実施する必要がある。							
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】						
通学路の安全確保の一環として，街路灯の維持管理を行う。 結城市内（結城市管理）の街路灯をLEDタイプに交換する。				通学路の安全確保の一環として，街路灯の維持管理を行う。 結城市内（結城市管理）の街路灯をLEDタイプに交換する。				通学路の安全確保の一環として，街路灯の維持管理を行う。 結城市内（結城市管理）の街路灯をLEDタイプに交換する。						
■事業費														
				H29年度		H30年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	399							
	県		支	出	金	0	0							
	地		方		債	0	0							
	そ		の		他	0	0							
	一		般	財	源	7,182	10,225							
歳入計（千円）				7,182		10,624								
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）								
	11	需用費			7,134	8,059								
	14	使用料及び賃借料			48	48								
	15	工事請負費			0	2,517								
歳出計（千円）（A）				7,182		10,624								
伸び率（％）						47.92								
備考	総合計画83ページ 予算書65ページ													

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	既設街路灯のLED化	基	目標	190.00	270.00	350.00
			実績	189.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	経費削減の意味でも必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市で対応すべきである。
	手段の妥当性	A 妥当である	手段としては一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	年次計画を策定し、予算の範囲内で実施する。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	設置箇所は市内全域が対象であるが、経費の関係で一部しか対応できない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	多少ではあるが経費削減につながっている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	予算が限られているので、計画的な進捗は望めない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
計画的にLED化を進めていきたいが、限られた予算の中での対応は難しい。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
今後は計画的な対応を進めるうえで予算の拡充を図りたい。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 通学路街路灯のLED化を継続し、維持管理費の低減と安全管理を両立して行く。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。